

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	講師	青柳 憲昌	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
『建築史家・大岡實の建築—鉄筋コンクリート造による伝統表現の試み』	共著	2013 年 7 月	川崎市立日本民家園発行	青柳憲昌・安田徹也	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
「大岡實の『復元』建築」	単著	2013 年 10 月	『日本建築学会計画系論文集』第 692 号	青柳憲昌	pp.2073-2080

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	准教授	泉 知論	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
高位合成による FPGA 実装向け SIFT アルゴリズムの構成法の基礎検討	共著	2014 年 1 月	電子情報通信学会リコンフィギュラブルシステム研究会、技術研究報告 RECONF2013-59	荒川尚久, 孟林, 泉知論
高速カメラによる広帯域光無線通信のための光源追跡ハードウェアの検討	共著	2014 年 3 月	情報処理学会 第 76 回 全国大会、講演論文集 1A-6	河合遼, 城圭太, 泉知論, 白木善史, 鎌本優

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月 (西暦可)
Design Competition Committee of ICFPT2013 (the International Conference Field-Programmable Technology 2013)	2 nd Place (準優勝)	R-BULLET - an FPGA Design of Blokus Game Player	2013 年 12 月

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
衣笠総合研究機構	准教授	板谷（牛谷） 直子	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management, INTERNATIONAL TRAINING COURSE ON DISASTER RISK MANAGEMENT OF CULTURAL HERITAGE	共著	2014 年 3 月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage, Ritsumeikan University (RitsDMUCH)	Rohit JIGYASU Participants of UNESCO Chair Programme, International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University	未定

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
京都の町家および民家と庭の特徴および防災対策	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol.7	板谷（牛谷）直子・山崎正史・飯塚隆藤・今江秀史	pp185-192
Integrating Cultural Heritage in Post Disaster Recovery, in the case of Minami Sanriku-Cho, Great East Japan Disaster Affected Area	単著	2014 年 3 月	Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management, INTERNATIONAL TRAINING COURSE ON DISASTER RISK MANAGEMENT OF CULTURAL HERITAGE(ITC2013 巻)	Naoko Ushitani ITAYA	未定

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	伊津野 和行	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
山麓斜面上に位置する木造建造物の周辺地盤との相互作用を考慮した地震応答特性	共著	2013 年 5 月	自然災害科学(32 巻 1 号)	土岐憲三・伊津野和行・深川良一	103・115
清水寺周辺地域における災害時避難の所要時間に関する考察	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集(7 巻)	川崎佑磨・大岡優・伊津野和行・小林祐一郎・久能木慎治	1・6
地震時における避難行動の意思決定プロセスに関する研究ー京都清水寺周辺地域をケーススタディとしてー	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集(7 巻)	崔青林・豊田祐輔・谷口仁士・鐘ヶ江秀彦・伊津野和行	23・30
伝統的構法の楔をもつ仕口のめり込みメカニズム	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集(7 巻)	棚橋秀光・大岡優・伊津野和行・鈴木祥之	97・104

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その 3 復元力特性と楔の効果)	共同	2013 年 8 月	2013 年度日本建築学会大会(北海道)	大岡優・棚橋秀光・伊津野和行・鈴木祥之
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その 4 楔をもつ仕口のメカニズムと定式化)	共同	2013 年 8 月	2013 年度日本建築学会大会(北海道)	棚橋秀光・大岡優・伊津野和行・鈴木祥之
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その 5 楔つき仕口のめり込み実験)	共同	2013 年 11 月	日本地震工学会・大会ー2013	大岡優・向坊恭介・棚橋秀光・伊津野和行・鈴木祥之
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その 6 楔の打ち込み特性と支圧力)	共同	2013 年 11 月	日本地震工学会・大会ー2013	向坊恭介・大岡優・棚橋秀光・伊津野和行・鈴木祥之
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その 7 楔つき仕口のめり込み力学モデル)	共同	2013 年 11 月	日本地震工学会・大会ー2013	棚橋秀光・大岡優・向坊恭介・伊津野和行・鈴木祥之
歴史的レンガ建造物の剥離およびせん断強度に関する実験的検討	共同	2013 年 11 月	第 10 回復合・合成構造シンポジウム	岸祐介・北原武嗣・野阪克義・伊津野和行

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	大窪 健之	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
『歴史に学ぶ減災の知恵ー建築・町並みはこうして生き延びてきた』	単著	2013 年 6 月 11 日	学芸出版社（京都市）	大窪健之	
Tohoku Disaster Report Book (Tentative Title)	共著	2014 年 3 月 (予定)		(Editor) Rajib Shaw	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
1896 年 9 月の大水害における琵琶湖周辺の社寺の避難所利用に関する研究	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 vol.7	江藤匠平, 林 倫子, 大窪健之	pp.81-88
火災発生情報を即時共有できる地域防災情報システムの開発 ～ハードウェア開発と実証訓練を通じた防災活動指針の検証～	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 vol.7	大窪健之, 森 主成, 福山大典, 深田亮介, 川合 誠	pp.169-176
伝統的建造物群保存地区における防災活動指針に対する持続的な評価・改善手法に関する研究～与謝野町加悦地区を対象として～	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 vol.7	和佐田陵亮, 大窪健之, 林 倫子, 金 度源	pp.177-184
世界遺産カトマンズ・バタン地区における地区防災計画を実践するための活動指針の提案ー防災ワークショップによる住民評価を通してー	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 vol.7	長嶋治樹, 大窪健之, 林 倫子, 幸野 郁, 古川真史	pp.201-208
歴史地区における民有の樹林保全の課題と対策・景観保全と都市防火に着目して	共著	2013年10月	都市計画論文集 vol.48 No.2	高松正彦, 大窪健之	pp.111-119
歴史的な本願寺水道の送水管再生による市街地防火への有効性評価ー大規模延焼火災を想定した祇園南地区での防災水利計画ー	共著	2013年11月	都市計画学論文集 Vol.48 No.3	金度源、大窪健之	pp.789-794
明治期の防災設備「本願寺水道」の再生による防災水利計画の提案ー歴史的な水利環境の防災活用を目指してー	共著	2013年12月	土木学会論文集 D3（土木計画学）Vol.69 No.5	金度源、荒川昭治、大窪健之	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
歴史的な消防水道管「本願寺水道」管路の診断ー管内検査による管更生の検討ー	共著	2013 年 7 月	第 7 回歴史都市防災シンポジウム	金 度源, 大窪健之
東日本大震災における地域組織を介した在宅被災者への食料支援実態に関する研究ー宮城県東松島市を対象としてー	共著	2013 年 8 月	日本都市計画学会関西支部第 11 回研究発表会	湯浅 卓, 大窪健之

2013(平成25)年度 歴史都市防災研究所 年報

講演「持続可能性と歴史防災まちづくり（建造物保護のための防災と環境保全）」		2013 年 8 月 27 日	文化財建造物主任技術者講習会，文化庁，京都市伝統木造保存技術研修センター，	大窪健之
講演「For Protection of Cultural Heritages and Urban Areas from Earthquake Triggered Fire」		2013 年 9 月 2 日	JICA2013 プログラム「歴史都市の保全・防災と文化観光への活用」，立命館大学 BKC	大窪健之
招待講演：Traditional Wisdom for Disaster Mitigation in History of Japanese Architecture and Historic Cities	単著	2013 年 9 月	The International Academic Symposium for the Safety Management of Cultural Heritage at Risk，韓国文化財研究所	大窪健之
招待講演「歴史に学ぶ減災の知恵～伝統を活かした防災まちづくりへ向けて～」		2013 年 9 月 28 日	災害に強いまちづくり講座Ⅱ・災害から学ぶ，京都市防災協会，京都市市民防災センター	大窪健之
招待講演「歴史に学ぶ減災の知恵～伝統を活かした防災まちづくり～」		2013 年 10 月 29 日	「土地月間」不動産鑑定講演会，愛知県不動産鑑定士協会，名古屋銀行協会	大窪健之
招待講演：For the Protection of Cultural Value and Disaster Mitigation – Traditional Wisdom for Disaster Mitigation in the History of Japanese Architecture and Historic Cities	単著	2013 年 11 月	International Conference on Cultural Heritage and Disaster Risk Reduction，SEAMEO SPAFA – Japan Foundatio	大窪健之

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
妙心寺防火・地域と一体	新聞記事（被取材）	読売新聞（夕刊）	2013 年 5 月 9 日
「堀川手づくりマイクロ発電水車プロジェクト」	大窪健之ほか研究室学生＋京都堀川手づくり水車の会	京の七夕事業（京都市）	2013 年 8 月 3 日～10 日
「マイクロ発電水車の組み立ておよび実験」	大窪健之ほか研究室学生＋福井県若狭町	エコキッズ関連事業（若狭町）	2013 年 10 月 27 日
「マイクロ発電水車の発電デモンストレーション」	大窪健之ほか研究室学生＋京北第二小学校	環境学習（京北第二小学校）	2013 年 12 月 9 日
地震火災から文化財を守る協議会 幹事			平成 11 年～
地震火災から文化財を守る協議会 同技術部会・委員長			平成 17 年 7 月～
NPO 法人 災害から文化財を守る会 幹事			平成 13 年 8 月～
東本願寺と環境を考える市民プロジェクト 運営協力委員			平成 16 年度～
日本イコモス国内委員会 ICORP アソシエイトメンバー			平成 16 年度～
国際イコモス ICORP 委員			平成 16 年度～
NPO 法人 災害から文化財を守る会 技術部会委員長			平成 17 年 4 月～
文化遺産災害対策小委員会 日本建築学会歴史意匠委員会			平成 19 年度～21 年度 平成 25 年度～
堀川手づくり水車の会 幹事まちづくり住民組織、堀川と堀川通りを美しくする会			平成 20 年度～
明日の京都「文化遺産プラットフォーム」第六部会 委員長			平成 22 年度～
京都府与謝野町「与謝野町加悦重要伝統的建造物群保存地区・防災事業検討会議」委員			平成 24 年度～

兵庫県神戸市「北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区における建築基準法緩和条例・防災計画策定に関する作業部会」指導委員			平成 24 年度～
奈良市「奈良国際文化観光都市建設審議会」委員			平成 24 年度～
奈良市「奈良市都市マスタープラン見直し検討委員会」副委員長			平成 24 年度～
滋賀県「滋賀県東北部圏域における都市計画区域のあり方を考える懇話会」座長			平成 24 年度～
文化遺産災害対策小委員会 日本建築学会歴史意匠委員会			平成 25 年度～
立命館大学「歴史都市防災研究所」所長			平成 25 年度～
京都府建築士会 代議員			平成 25 年度～
史跡松山城跡整備検討専門委員			平成 25 年度～

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
一般社団法人 不動産協会	不動産協会賞	大窪健之（単著）『歴史に学ぶ減災の知恵』，学芸出版社，	2013 年
土木学会（土木計画学委員会）	公共政策デザインコンペティション，「北村賞」受賞（計画指導）	「災害に強い風土に根ざした歴史防災まちづくり」	2013 年 6 月 1 日
京都市長	「自治記念日表彰：国際交流による市政への貢献」	歴史都市防災研究室（大窪研究室）	2013 年 10 月 15 日

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
延焼火災モニタリングシステム			特 願 2008-226387		特許第 5230306 号	日本
日常利用可能な高機能型市民消火栓設備（出願準備中）						
街路壁面散水システム（ウォーターシールドシステム：WSS）用ノズル（出願準備中）						

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	准教授	小川 圭一	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
避難時の交通容量を考慮した歴史都市における観光客の避難経路に関する検討	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol.7	小川圭一, 南和憲, 前川貴哉, 塚口博司, 安隆浩	pp.7-14
歴史都市における減災計画のための道路ネットワークの脆弱性把握方法に関する研究	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol.7	安隆浩, 塚口博司, 久下紗緒里, 小川圭一	pp.215-222

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
歴史都市における災害時ネットワークの孤立性を考慮した道路整備に関する研究	共著	2013 年 6 月	第 47 回土木計画学研究発表会	久下紗緒里, 安隆浩, 小川圭一, 塚口博司
避難時の交通容量を考慮した歴史都市における観光客の避難経路に関する検討	共著	2013 年 7 月	第 7 回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一, 南和憲, 前川貴哉, 塚口博司, 安隆浩
歴史都市における減災計画のための道路ネットワークの脆弱性把握方法に関する研究	共著	2013 年 7 月	第 7 回歴史都市防災シンポジウム	安隆浩, 塚口博司, 久下紗緒里, 小川圭一
歴史都市防災に関する論文の分類とその時系列的変化の分析 ～歴史都市防災論文集を対象として～	共著	2013 年 7 月	第 7 回歴史都市防災シンポジウム	高野隼也, 小川圭一, 塚口博司, 安隆浩

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
政策科学部	教授	鐘ヶ江 秀彦	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
「16 章 環境持続性と地域活性化 16.4 炭素埋設農法を通じた持続可能な地域開発「亀岡モデル」」大貝彰・宮田譲・青木伸一（編著）『都市・地域・環境概論—持続可能な社会の創造に向けて』	分担執筆	2013 年 4 月	朝倉書店		
「第 3 部 サステイナビリティの構築（気候変動への対応）災害と都市」周瑋生（編著）『サステイナビリティ学入門』	分担執筆	2013 年 4 月	法律文化社		

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
情報理工学部	教授	川合 誠	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Android プラットフォーム上でのネットワークコーディングを用いたアドホックブロードキャスト	共著	2013 年 5 月	情報処理学会第 155 回 DSP・第 66 回 MBL 合同研究発表会	林直秀、野口拓、川合誠
An Improved Hybrid Localization Scheme for Wireless Ad Hoc and Sensor Networks	共著	2013 年 9 月	24th Annual IEEE International Symposium on Persnal, Indoor and Mobile Radio Communications	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai
Experimental Evaluation of DV-HOP Localization Algorithm	共著	2013 年 9 月	2013 年電子情報通信学会ソサイエティ大会	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai
RSS-based Optimized DV-HOP Localization Scheme for Wireless Ad-hoc Networks	共著	2013 年 12 月	The Fourth International Conference on Science and Engineering	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai
アドホックネットワークにおけるインターネット接続のための経路選択方式の提案	共著	2014 年 3 月	2014 年電子情報通信学会総合大会	鈴木哲也、野口拓、川合誠

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	里深 好文	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
土地利用の高機能化による史跡保全に配慮した土砂災害対策	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	原田紹臣, 里深好文	31・38
平成 23 年台風 12 号による熊野那智大社裏山における大規模斜面崩壊の解析条件設定に関する研究	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	藤本将光、石田優子、梅本啓介、小杉賢一朗、里深好文、深川良一	45・50
熊野那智大社後背山地において発生した土石流に関する研究	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	赤澤史顕、藤本将光、里深好文、深川良一	59・66
清水寺地域における集中豪雨時の土石流氾濫解析	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	速見智、大塚亮介、里深好文	67・72
タイ・アユタヤの文化遺産防災に向けた現地調査と洪水解析	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	檀上徹、赤澤史顕、田中七裕、藤本将光、豊田祐輔、谷口仁士、深川良一、里深好文	73・80

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
衣笠総合研究機構	教授	鈴木 祥之	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
都市建築の発展と制御シリーズ 「市民と専門家が協働する成熟社会の建築・まちづくり」	共著	2014 年 1 月	社団法人日本建築学会 発売所：丸善株式会社	鈴木祥之（編集、分担執筆）	177・188

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
伝統的構法における垂壁腰壁を含む鉛直構面の水平耐力の評価 乾式土壁パネルを用いた場合	共著	2013 年 6 月	日本建築学会技術報告集、42 巻、2013 年 6 月	中尾方人、後藤正美、鈴木祥之	pp.525-530
伝統構法木造の告示波に対する最大変位応答	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	山田耕司、鈴木祥之、向坊恭介、須田達	pp.89-96
伝統的構法の楔をもつ仕口のめり込みメカニズム	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	棚橋秀光、大岡優、伊津野和行、鈴木祥之	pp.97-104
ネパール・カトマンズにおける歴史的組積造建造物群の構造分類と地震リスク評価	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	古川愛子、清野純史、谷口仁士、鈴木祥之、土岐憲三、辰巳雅俊、H.R.Parajuli	pp145-152

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
壁土の凍結融解に関する基礎実験 その 1 古土	共著	2013 年 5 月	日本建築学会北陸支部研究報告集、第 56 号 pp.3-4.	浦 憲親、後藤正美、鈴木祥之
壁土の改良に関する基礎実験 その 1 基本的性質	共著	2013 年 5 月	日本建築学会北陸支部研究報告集、第 56 号 pp.5-6.	浦 憲親、後藤正美、鈴木祥之
記念講演会「伝統構法木造建物の耐震性能と設計の考え方」	単著	2013 年 5 月 10 日	一般社団法人日本建築構造技術者協会九州支部総会、タカクラホテル福岡	鈴木祥之
講演「伝統構法木造建築物を地震に備え、未来につなぐ」	単著	2013 年 5 月 15 日	一般社団法人三重県測量設計業協会平成 25 年度第 1 回技術セミナー「地震、豪雨災害に備える」、三重県総合文化センター 三重県文化会館.	鈴木祥之

記念講演会「これからの伝統木造建築物の設計法」	単著	2013 年 5 月 31 日	愛知建築地震災害軽減システム研究協議会、平成 25 年度記念講演会、KKR ホテル名古屋 3 階 芙蓉	鈴木祥之
講演「伝統的構法の設計法～性能検証実験を経て」	単著	2013 年 6 月 8 日	三重県建築士会みえ木造塾、三重県松阪市ウッドピア内「木の情報館」	鈴木祥之
伝統的構法による木造架構の床構面剛性を考慮した偏心補正	共著	2013 年 6 月 15 日－16 日	平成 25 年度(2013 年度)日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校	長瀬正、齋藤幸雄、鈴木祥之
土壁の性質に関する基礎実験 その 1 地域産土の基本的性質	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス A-1 分冊、pp.883-884	山本智大・浦憲親・後藤正美・鈴木祥之
壁土材料の簡易試験法に関する検討	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス A-1 分冊、pp.891-892	山田耕司・小林正・鈴木祥之
伝統的構法木造床版の面内せん断耐力特性について	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス C-1 分冊、pp.151-152	常平真哉・鎌田輝男・鈴木祥之
古建築仕口接合部の復元力特性 その 1 加力試験	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス C-1 分冊、pp.441-442	佐々木康寿・小川敬多・山崎真理子・棚橋秀光・大岡優・鈴木祥之
古建築仕口接合部の復元力特性 その 2 理論的推定	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	古建築仕口接合部の復元力特性 その 2 理論的推定 C-1 文冊、pp.443-444	小川敬多・佐々木康寿・山崎真理子・棚橋秀光・大岡優・鈴木祥之
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究 その 3 復元力特性と楔の効果	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス C-1 分冊、pp.445-446	大岡優・棚橋秀光・伊津野和行・鈴木祥之
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究 その 4 楔をもつ仕口のメカニズムと定式化	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1 分冊、pp.447-448	棚橋秀光・大岡優・伊津野和行・鈴木祥之
土塗り壁の復元力特性への壁高さの影響 その 1 土台仕様試験体	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1 分冊、pp.453-454.	中治弘行・後藤正美・河原大・鈴木祥之
土塗り壁の復元力特性への壁高さの影響 その 2 足固め仕様試験体	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1 分冊、pp.455-456.	河原大・中治弘行・後藤正美・鈴木祥之

2013(平成25)年度 歴史都市防災研究所 年報

板壁に漆喰を塗った真壁工法および仕口金物工法による鉛直構面耐震要素の面内せん断実験 その 1 試験体の概要	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1 分冊、pp.469-470	中尾裕典・完山利行・丸山純夫・鈴木祥之
板壁に漆喰を塗った真壁工法および仕口金物工法による鉛直構面耐震要素の面内せん断実験 その 2 面内せん断実験結果	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1 分冊、pp.471-472	完山利行・中尾裕典・丸山純夫・鈴木祥之
伝統的構法を用いた木構造の柱脚滑りを考慮した限界耐力計算	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1 分冊、pp.501-502.	長瀬正 (竹中工務店)・齋藤幸雄・鈴木祥之
高山市域における木造建物の構造特性と実態に関する調査研究 その 1 調査の概要	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1 分冊、pp.531-532	後藤正美・塚畑大樹・鈴木智華・須田達・向坊恭介・鈴木祥之
高山市域における木造建物の構造特性と実態に関する調査研究 その 2 悉皆調査	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1 分冊、pp.533-534	鈴木智華・後藤正美・塚畑大樹・須田達・向坊恭介・鈴木祥之
高山市域における木造建物の構造特性と実態に関する研究 その 3 伝統木造建物の構造的特徴	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1 分冊、pp.535-536.	塚畑大樹 (設計室オール)・後藤正美・鈴木智華・須田達・向坊恭介・鈴木祥之
伝統的構法の実大振動台実験 その 1 2012 年実験の目的と試験体概要	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1 分冊、pp.553-554.	鈴木祥之・齋藤幸雄・後藤正美・麓和善・大江忍
伝統的構法の実大振動台実験 その 2 実大試験体 No.5、No.6	共著	2013 年 8 月 30 日－9 月 1 日	2013 年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス C-1 分冊、pp.555-556.	清水秀丸・向坊恭介・中川貴文・須田達・後藤正美・齋藤幸雄・鈴木祥之
講演「伝統的構法の設計・耐震補強の考え方」	単著	2013 年 9 月 14 日、	(公社)愛知建築士会木塾委員会、豊橋市民文化会館	鈴木祥之
板壁を有する伝統木造軸組架構の耐震性能および長押補強効果の実験的検証	共著	2013 年 11 月 11 日－12 日	日本地震工学会第 10 回年次大会梗概集、東京・国立オリンピック記念青少年総合センター pp.259-260.	瀧野敦夫、宮本裕司、田代靖彦、鈴木祥之
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究 (その 5 楔つき仕口のめり込み実験)	共著	2013 年 11 月 11 日－12 日	日本地震工学会第 10 回年次大会梗概集、東京・国立オリンピック記念青少年総合センター pp.263-264.	大岡優 (立命館大学)・向坊恭介・棚橋秀光・伊津野和行・鈴木祥之
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究 (その 6 楔の打ち込み特性と支圧力)	共著	2013 年 11 月 11 日－12 日	日本地震工学会第 10 回年次大会梗概集、東京・国立オリンピック記念青少年総合センター pp.265-266.	向坊恭介、大岡優、棚橋秀光、伊津野和行、鈴木祥之

伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究（その 7 楔つき仕口のめり込み力学モデル）	共著	2013 年 11 月 11 日－12 日	日本地震工学会第 10 回年次大会梗概集、東京・国立オリンピック記念青少年総合センター pp.267-268	棚橋秀光，大岡優，向坊恭介，伊津野和行，鈴木祥之
伝統的構法の実大振動実験に基づく耐震性能評価	共著	2013 年 11 月 14 日	2013 年度木材学会中部支部大会 富山国際会議場 講演番号 206	清水秀丸，鈴木祥之
講演「伝統的構法の構造力学的課題と設計法」	単著	2013 年 11 月 15 日	第 56 回構造力学コロキウム「木質構造の最新の研究と実施設計例」、日本建築学会近畿支部構造力学部会、大阪市立大学 梅田サテライト 大講義室 101 号室（大阪駅前第 2 ビル 6 階）	鈴木祥之
講演「伝統構法の設計法における課題」	単著	2013 年 11 月 16 日	社団法人日本建築構造技術者協会中部支部北陸部会、石川県文教会館	鈴木祥之
講演「伝統構法を未来につなぐための設計法と補強法」	単著	2013 年 11 月 26 日	京都府建築工業協同組合・京都商工会議所、第 2 回設計施工ワーク研修会、ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館）3 階 大会議室	鈴木祥之
壁土の水合せについて	共著	2013 年 12 月 14 日	平成 25 年度第 56 回日本大学工学部学術研究報告会講演要旨集、日本大学工学部 pp.66-69	浦憲親・鈴木祥之
講演「伝統木造建築物の耐震性－実大振動台実験による検証－」	単著	2014 年 1 月 24 日	防災フロンティア研究センター 第 5 回防災情報シンポジウム、京都タワーホテル	鈴木祥之

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
文学部	教授	高橋 学	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
環境史からみた東北地方・太平洋沖地震の津波被害		2014 年 3 月 31 日			約 30 頁

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
災害発生メカニズム	単著	2013 年 4 月 21 日	名古屋市守山区サイエンスプラザ	高橋 学
環太平洋地域の災害史	単著	2013 年 5 月 19 日	立命館大学環太平洋文明研究センターシンポジウム	高橋 学
Damages Caused by Tsunami during Great Tohoku Earthquake・Perspective of Environmental History	単著	2013 年 7 月 8 日	国際地理学会 京都国際会議場	高橋 学
未来を語る環境考古学	単著	2013 年 7 月 31 日	広島市青少年センター	高橋 学
古環境から社会の安全性を考えるーバルデビアの場合ー（スペイン語通訳）	単著	2013 年 10 月 1 日	チリ環境省ロスリオス州	高橋 学
古環境から社会の安全性を考えるーアントファガスタの場合ー	単著	2013 年 10 月 7 日	チリ環境省アントファガスタ	高橋 学
古環境から社会の安全性を考えるーバルパライソの場合ー	単著	2013 年 10 月 10 日	チリ環境省バルパライソ	高橋 学
環太平洋災害史ー地震と火山 噴火ー	単著	2014 年 1 月 20 日	JICA Chile 中南米環境研修	高橋 学
災害史からみたバルデビアの脆弱性	単著	2014 年 1 月 22 日	チリ環境省ロスリオス	高橋 学
環境からみたアントファガスタの災害	単著	2014 年 1 月 24 日	チリ環境省アントファガスタ	高橋 学
環太平洋地域における地震・津波・火山爆発	単著	2014 年 3 月 21 日	津波シンポジウム(バルパライソカトリック大学)	高橋 学

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	准教授	武田 史朗	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
京都市「ちびっこひろば」の活用法の評価に対して防災的活用がおよぼす効果に関する研究	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	五味慶一郎・武田史朗	

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
立命館グローバル・イノベーション研究機構	教授	谷口 仁士	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
過去の地震・津波の経験にもとづいた被災地経済復興計画立案の分析方法に関する研究	共著	2013 年	地域学研究第 43 巻(掲載決定、印刷中巻)	朴ジョンヨン・崔青林・谷口仁士	

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	塚口 博司	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
大規模交通ターミナル地区における歩行者の3次元経路選択行動分析	共著	2013 年 5 月	土木学会論文集 D3 Vol.69 No.2	塚口博司、柴田裕基、平田秀樹、安隆浩	pp.135-145
Analysis of Changes in Pedestrian Route Choice Priorities with Progress of Stage of Life	共著	2013 年 9 月	Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.10	Tsukaguchi,H., Vandebona, U., and Tajima,Y.	pp.1396-1412
Relationship among Lifestyle Attributes and Attitudes toward Pedestrian Facilities	共著	2013 年 9 月	Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.10	Tajima, Y., Tsukaguchi, H., Vandebona, U., and Hsia,H.C.	pp.1458-1474
The Study of the Relationships among Psychological Factors, Acceptable Walking Distance, and Actual Walking Distance	共著	2013 年 9 月	Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.10	Hsia H.C., Yeh, K.Y., Tsukaguchi, H., and Vandebona, U.	pp.1475-1488
Impact of urbanization on user expectations related to public transport accessibility	共著	2013 年	International Journal of Urban Sciences, Vol.17, No.2	Vandebona, U., and Tsukaguchi, H.	pp.199-211
歴史都市における減殺計画のための道路ネットワークの脆弱性把握方法に関する研究	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol.7	安隆浩、塚口博司、久下沙緒里、小川圭一	pp.215-222
非難時の交通容量を考慮した歴史都市における観光客の避難経路に関する検討	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol.7	小川圭一、南和憲、前川貴哉、塚口博司、安隆浩	pp.7-14

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
STUDY OF SIGN SYSTEM IMPROVEMENT IN A HISTORICAL PARK BASED ON BEFORE AND AFTER COMPARISONS	共著	2013 年 7 年	Proceedings of the world conference on transport research	Hiroshi Tsukaguchi, Upali Vandebona, and Hayato Mukai

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
政策科学部	准教授	豊田 祐輔	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
既存の防災コミュニティ支援ツールによる地域の文化遺産防災への効果	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	193-200
地震時における避難行動の意思決定プロセスに関する研究 ―京都清水寺周辺地域をケーススタディとして―	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	崔青林、豊田祐輔、谷口仁士、鐘ヶ江秀彦、伊津野和行	23-30
タイ・アユタヤの文化遺産防災に向けた現地調査と洪水解析	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	壇上徹、赤澤史顕、田中七裕、藤本将光、豊田祐輔、谷口仁士、深川良一、里深好文	73-80
Sustainable Urban Heritage through Participatory Evacuation Map Making for Kotagede, Yogyakarta - A Lesson Learned from Sister City, Kyoto - Japan	共著	2014 年	Procedia Environmental Sciences(Forthcoming 巻)	Dyah R. Hizbaron, Sudibyakto, Raditya Jatib, Kanegae Hidehiko and Toyoda Yusuke	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Creating a Community Warehouse for Disaster Preparedness as a Local Common	共著	2013 年 6 月	The 14th Global Conference of the International Association for the Study of the Commons (IASC 2013)	Toyoda Yusuke* and Kanegae Hidehiko
Comparative Study on Disaster Preparedness and Awareness among Districts with Groups of Traditional Buildings in Japan and the Republic of Korea	共著	2013 年 9 月	32nd Academic Meeting of Japan Society for Natural Disaster Science	Toyoda Yusuke*, Cui Qinglin, Jungyoun Park and Taniguchi Hitoshi
防災意識の地域間比較に関する分析・重要伝統的建造物群保存地区における防災意識の地域特性(その4)	共著	2013 年 9 月	第 32 回日本自然災害学会学術講演会	崔青林、豊田祐輔、朴ジョンヨン、谷口仁士*
コンパクトシティ政策導入が与える大学・地域間防災連携への影響に関する研究	単著	2013 年 10 月	日本地域学会第 50 回年次大会	豊田祐輔
Resilience, Disaster Mitigation and Adaptation for Community Succession in Historic Cities	共著	2013 年 11 月	International Conference on Cultural Heritage and Disaster Risk Reduction	Toyoda Yusuke* and Kanegae Hidehiko
コミュニティ防災へのアクション・リサーチにおけるシミュレーション&ゲーミング	単著	2013 年 12 月	日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会 2013 年秋	豊田祐輔

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
Community-based Disaster Mitigation and Management of Evacuation Shelter	単独	“Training of Trainers (TOT) - Disaster Mitigation Program under Professional Human Resources Development Project	2013 年 6 月 27 日 ～2013 年 6 月 27 日

		III (PHRDP IID) of Indonesia” Ritsumeikan University	
Disaster profile of Kyoto and vulnerability of Kamishichiken	単独	6th International Summer School: The Future of The Past 「 Gaming Simulation on Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage」	2013 年 8 月 1 日 ～2013 年 8 月 9 日
Gaming Simulation for Community-based Disaster Reduction	単独	10th ISAGA (International Association of Simulation & Gaming) summer school 「 Gaming Simulation on Disaster Mitigation」	2013 年 8 月 5 日 ～2013 年 8 月 9 日
住民による住民のための防災を考える	単独	茨木市『まちづくり寺子屋』茨木 市役所、茨木市	2013 年 11 月 24 日 ～2013 年 11 月 24 日

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
日本地域学会	田中啓一賞（博士論文賞）	人口流動期における都市部のコミュニティ避難計画に関する研究	2013 年 10 月
日本シミュレーション&ゲーミング学会(JASAG)	奨励賞		2013 年 12 月

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 1 月 7 日
所属	職名	氏名	
文学部	教授	中谷 友樹	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
Contextual determinants of community social capital	分担執筆	2013 年	Kawachi et al. eds., Global Perspectives on Social Capital and Health, Springer Science+Business Media New York, DOI 10.1007/978-1-4614-7464-7_5. (in press)	Hanibuchi, T. and Nakaya, T.	123-142
地域コミュニティのソーシャル・キャピタルを規定する文脈的要因	共著	2013 年	カワチ, I.・高尾総司・スブラマニアン, S.V.編「ソーシャル・キャピタルと健康政策」日本評論社	埴淵知哉・中谷友樹	151-172
Evaluations and improvements in small area estimation methodologies	共編著	2013 年	National Centre for Research Methods Methodological Review paper, ESRC, UK.	Whitworth, A., Aitken, G., Anderson, B., Ballas, D., Dibben, C., Heppenstall, A., Kavroudakis, D., McLennan, D., Malleson, N., Moon, G., Nakaya, T., Tanton, R., Taylor, J., Tzavidis, N., Williamson, P.	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
佐谷岳穂・矢野桂司・中谷友樹・Alex Singleton・Christopher Brunsdon	共著	2013 年 11 月	地理情報システム学会講演論文集(22 巻)	2010 年国勢調査小地域統計のオープン・アトラスの作成・公開	1-4(CD-ROM)
Open Social Atlas of the 2010 Population Census of Japan	共著	2013 年 12 月	Proceedings of the 15th Japan-Korea International Symposium of GIS	Satani, T., Yano, K., Nakaya, T., Singleton, A. and Brunsdon, C.	1-4(CD-ROM)
住民参加型安全安心マップ作成のワークショップが環境介入に与える影響—マップに記載された情報に着目して—	共著	2013 年	地理科学(68 巻 2 号)	村中 亮夫・谷端 郷・米島 万有子・湯浅 弘樹・瀬戸 寿一・中谷 友樹	114-131
Analytical Data Transformations in Space-Time Region: Three Stories of Space-Time Cube	単著	2013 年	Annals of the Association of American Geographers(103 巻)	Nakaya, T.	1100-1106
Network-based spatial interpolation of commuting trajectories: Application of a university commuting management project in Kyoto, Japan	共著	2013 年	Journal of Transport Geography	Hanaoka, K., Nakaya, T., Yano, K. and Inoue, S.	in press

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Census-based areal deprivation index of Japan	単著	2013 年 5 月	セミナーがん患者における社会経済因子による生存率格差：日英における比較	Nakaya, T.
Census-based areal deprivation index of Japan	単著	2013 年 5 月	セミナーがん患者における社会経済因子による生存率格差：日英における比較	中谷友樹
Development of Built-up areas and Walking Habits of elderly people in Kameoka City, Japan	共著	2013 年 8 月	IGU Kyoto Regional Conference	Nagao, S., Nakaya, T., Yamada, Y., Yamada, M., Yoshida, T. and Kimura, M.
Japanese Geodemographics based on the 2010 Population Census of Japan	共著	2013 年 8 月	IGU Kyoto Regional Conference	Yano, K., Kirimura, T., Nakaya, T. and Satani, T.
Effects of land use pattern on spatial distribution of host-seeking mosquitoes within urban areas in Kyoto, Japan	共著	2013 年 8 月	IGU Kyoto Regional Conference	Yonejima, M., Nakaya, T., Nihei, N., Tsuda, Y., Kobayashi, M., Watanabe, M. and Maeda, A.
Effects of the safety and security map making workshop on the environmental interventions	共著	2013 年 8 月	IGU Kyoto Regional Conference	Muranaka, A., Tanibata, G., Yonejima, M., Yuasa, H., Seto, T. and Nakaya, T.
Open Social Atlas of the 2010 Population Census of Japan	共著	2013 年 10 月	the 15th Japan-Korea International Symposium of GIS	Satani, T., Yano, K., Nakaya, T., Singleton, A. and Brunsdon, C.
地域の防災・安全活動における安全安心マップ作成のワークショップの可能性—環境介入に着目して—	共著	2013 年 11 月	第 25 回立命館地理学会大会	村中亮夫・谷端郷・米島万有子・湯浅弘樹・瀬戸寿一・中谷友樹

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
ESRI Japan	「第 9 回 GIS コミュニティフォーラム」マップ・ギャラリーコンテスト 1 位		2013 年 5 月

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	助教	林 倫子	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
世界遺産カトマンズ・パタン地区における地区防災計画を実践するための活動指針の提案 ―防災ワークショップによる住民評価を通して―	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	長嶋治樹, 大窪健之, 林倫子, 幸野郁, 古川真史	201-208
伝統的建造物群保存地区における防災活動指針に対する持続的な評価・改善手法に関する研究 ～与謝野町加悦地区を対象として～	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	和佐田陵亮, 大窪健之, 林倫子, 金度源	177-184
1896 年 9 月の大水害における琵琶湖周辺の社寺の避難所利用に関する研究	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	江藤匠平, 林倫子, 大窪健之	81-88

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	平尾 和洋	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
沈黙と光 ルイス・カーンの建築精神	単著	2013 年 12 月	青山社	ジョン・ロベル著,平尾和洋訳注	全

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
丹後加悦伝建地区における防火意匠の現状調査	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol.7	金子佳弘,中辻浩介,向坊恭介,平尾和洋	131-138
名古屋市有松町並み保存地区における伝統的建造物の修理実態に関する研究	共著	2013 年 10 月	日本建築学会技術報告集(第 19 巻第 43 号)	北山めぐみ,山本直彦,増井正哉,平尾和洋	1105-1110

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
丹後加悦重伝地区における防火意匠の現状調査その 1	共著	2013 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集 第 53 号・計画系	中辻浩介,金子佳弘,向坊恭介,平尾和洋
丹後加悦重伝地区における防火意匠の現状調査その 2	共著	2013 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集 第 53 号・計画系	金子佳弘,中辻浩介,向坊恭介,平尾和洋
明日香村における民家の屋敷構えに関する研究・奥山・飛鳥・川原・野口の 4 大字を対象に・	共著	2013 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集 第 53 号・計画系	真木梨華子,山本直彦,平尾和洋,城戸杏里
丹後加悦重伝地区における防火意匠の現状調査(その 1～4)	共著	2013 年 8 月	日本建築学会学術講演梗概集	平尾和洋,向坊恭介,中辻浩介,金子佳弘

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	深川 良一	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
山麓斜面上に位置する木造建造物の周辺地盤との相互作用を考慮した地震応答特性	共著	2013 年 5 月	自然災害科学(32 巻 1 号)	土岐憲三、伊津野和行、深川良一	103-115
熊野那智大社後背山地において発生した土石流に関する研究	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	赤澤文顕・藤本将光・里深好文・深川良一	51-58
平成 23 年台風 12 号による熊野那智大社裏山における大規模斜面崩壊の解析条件設定に関する研究	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	藤本将光、石田優子、梅本啓介、小杉賢一朗、里深好文、深川良一	45-50
地盤強度特性の空間分布を考慮した急傾斜地崩壊発生場の予測	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	石田優子、藤本将光、深川良一他 2 名	51-58
タイ・アユタヤの文化遺産防災に向けた現地調査と洪水解析	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	檀上徹・赤澤文顕・田中七裕・藤本将光・豊田祐輔・谷口仁士・深川良一・里深好文	73-80
Effect of weathered bedrock permeability on a large landslide triggered by Typhoon Talas in southern part of central Japan	共著	2013 年 9 月	Proc. of 13 th Conf. on Sci. and Tech. – Int. Ses. 2013 HCMUT Vietnam- Fac. of Civil Eng.	Fujimoto M, Kosugi K, Ishida Y, Satofuka Y, and Fukagawa	221-227
Topographical and geological characteristics of collapsed slopes caused by 2011 Typhoon Talas in Japan	共著	2013 年 9 月	Proc. of 13 th Conf. on Sci. and Tech. – Int. Ses. 2013 HCMUT Vietnam- Fac. of Civil Eng.	Ishida Y, Fujimoto M, and Fukagawa R	207-213
平成 23 年台風 12 号による熊野那智大社裏山の大規模斜面崩壊において風化基岩層が与える影響	共著	2013 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 2013 論文集	藤本将光・小杉賢一朗・石田優子・里深好文・深川良一	97-102
水位変動を考慮したサイゴン川河岸崩壊現象のシミュレーション	共著	2013 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 2013 論文集	大矢綾香・平岡伸隆・Bui Hong Ha・藤本将光・深川良一	11-16
Dynamic analysis of slope failure using the mesh-free SPH Method	共著	2013 年 11 月	Proc. of the 3rd Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment	N. Hiraoka, A. Oya, H. H. Bui, P. Rajeev and R. Fukagawa	274-279
Numerical prediction of the post failure behaviour of box shape retaining wall system	共著	2013 年 11 月	Proc. of the 3rd Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment	C. T. Nguyen, H. H. Bui, N. Hiraoka, A. Oya and R. Fukagawa	298-303
変位法を応用した斜面上の段差フーチング剛体基礎の設置圧分布・変位計算法	共著	2013 年	土木学会論文集(掲載決定)	上田謙三・深川良一	未定
Permeability test in single borehole using ultrasonic wave	共著	2013 年	Proc. of the 8th Int. Symp. on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics	N. Hiraoka, T. Kurohara, S. Nakano, K. Tanaka, M. Fujimoto, R. Fukagawa, and A. Togari	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名

風化花崗岩山地におけるトレーサー試験を用いた基岩内地下水流動の把握に関する研究	共著	2013 年 5 月	H25 年度土木学会関西支部年次学術講演会	馬場直輝, 藤本将光, 深川良一, 小杉賢一朗
重要文化財後背斜面における地盤特性および地盤内水分変動関係に関する考察	共著	2013 年 5 月	H25 年度土木学会関西支部年次学術講演会	木村亘・藤本将光・平岡伸隆・檀上徹・深川良一
箱型擁壁の静的安定性に関するモデル実験および数値解析結果の皮革	共著	2013 年 5 月	H25 年度土木学会関西支部年次学術講演会	田邊友章・鳥居文也・平岡伸隆・Bui Hong Ha・酒匂一成・深川良一
アンカー工に用いられる支圧板周囲の降雨時侵食現象に関する実験的考察	共著	2013 年 5 月	H25 年度土木学会関西支部年次学術講演会	宮島佳之・檀上徹・深川良一・藤本将光・岩佐直人
サイゴン川河岸の水位変動と斜面の安定性に関する研究	共著	2013 年 5 月	H25 年度土木学会関西支部年次学術講演会	大矢綾香・Bui Hong Ha・平野竜五・平岡伸隆・藤本将光・深川良一
平成 23 年度台風 12 号による熊野那智大社土砂災害の実態調査	共著	2013 年 7 月	地盤工学会研究発表会	石田優子・藤本将光・梅本啓介・里深好文・深川良一
実斜面における地盤内の感激空気圧の計測	共著	2013 年 7 月	地盤工学会研究発表会	檀上徹・酒匂一成・藤本将光・深川良一
ソフトとハード融合技術による新たな斜面モニタリング技術の実験的研究	共著	2013 年 7 月	地盤工学会研究発表会	岩佐直人・江守良介・檀上徹・深川良一・酒匂一成・酒井直樹
重要文化財後背斜面における地盤特性および地盤内水分変動関係に関する考察	共著	2013 年 9 月	平成 25 年砂防学会研究発表会	木村亘・藤本将光・檀上徹・深川良一
SPH 法に基づくサイゴン川河岸崩壊現象の数値シミュレーション	単著	2013 年 9 月	建設コンサルタンツ協会近畿支部研究発表会	大矢綾香
サイゴン川における水位変動を考慮した河岸斜面の安定解析に関する研究	共著	2013 年 9 月	H25 年度土木学会全国大会第 68 回年次学術講演会	大矢綾香・平岡伸隆・Bui Hong Ha・藤本将光・深川良一

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
弾性体を利用した孔内载荷試験装置					特許第 2571419 号	

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	助教	向坊 恭介	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
興福寺の歴史的地理的環境と中金堂再建の現況	共著	2013 年	京都歴史災害研究, 第 14 号	川崎一朗, 諏訪浩, 中村琢巳, 向坊恭介, 岡田篤正	pp.11-20
桂離宮とその周辺の水害リスク	共著	2013 年	京都歴史災害研究, 第 14 号	川崎一朗, 岡田篤正, 諏訪浩, 吉越昭久, 大窪健之, 向坊恭介, 大邑潤三, 高橋昌明	pp.53-62

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
丹後加悦重伝地区における防火意匠の現状調査(その 1)	共著	2013 年	日本建築学会学術講演梗概集(北海道)	平尾和洋, 向坊恭介, 中辻浩介, 金子佳弘
丹後加悦重伝地区における防火意匠の現状調査(その 2)	共著	2013 年	日本建築学会学術講演梗概集(北海道)	向坊恭介, 平尾和洋, 中辻浩介, 金子佳弘
丹後加悦重伝地区における防火意匠の現状調査(その 3)	共著	2013 年	日本建築学会学術講演梗概集(北海道)	中辻浩介, 平尾和洋, 向坊恭介, 金子佳弘
丹後加悦重伝地区における防火意匠の現状調査(その 4)	共著	2013 年	日本建築学会学術講演梗概集(北海道)	金子佳弘, 向坊恭介, 中辻浩介, 平尾和洋
石場建て構法における柱脚部の浮き上がりに関する実験的考察	共著	2013 年	日本建築学会学術講演梗概集(北海道)	須田達, 向坊恭介, 山田 耕二
高山市域における木造建物の構造特性と実態に関する調査研究(その 1) 調査の概要	共著	2013 年	日本建築学会学術講演梗概集(北海道)	後藤正美, 塚畑大樹, 鈴木智華, 須田達, 向坊恭介, 鈴木祥之
高山市域における木造建物の構造特性と実態に関する調査研究(その 2) 悉皆調査	共著	2013 年	日本建築学会学術講演梗概集(北海道)	鈴木智華, 後藤正美, 塚畑大樹, 須田達, 向坊恭介, 鈴木祥之
高山市域における木造建物の構造特性と実態に関する研究(その 3) 伝統木造建物の構造的特徴	共著	2013 年	日本建築学会学術講演梗概集(北海道)	塚畑大樹, 後藤正美, 鈴木智華, 須田達, 向坊恭介, 鈴木祥之
伝統的構法の実大振動台実験(その 2) 実大試験体 No.5、No.6	共著	2013 年	日本建築学会学術講演梗概集(北海道)	清水秀丸, 向坊恭介, 中川貴文, 須田達, 後藤正美, 齋藤幸雄, 鈴木祥之
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その 5 楔つき仕口のめり込み実験)	共著	2013 年	日本地震工学会・大会-2013	大岡優, 向坊恭介, 棚橋秀光, 伊津野和行, 鈴木祥之
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その 6 楔の打ち込み特性と支圧力)	共著	2013 年	日本地震工学会・大会-2013	向坊恭介, 大岡優, 棚橋秀光, 伊津野和行, 鈴木祥之
伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その 7 楔つき仕口のめり込み力学モデル)	共著	2013 年	日本地震工学会・大会-2013	棚橋秀光, 大岡優, 向坊恭介, 伊津野和行, 鈴木祥之

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
文学部	教授	矢野 桂司	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
バーチャル京都で歴史都市京都の景観を継承する	分担執筆	2013 年 7 月	彬子女王編『文化財の現在 過去・未来』宮帯出版社		293-311

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
地理情報システムを用いた地理学と歴史学の連携—歴史 GIS の試み	共著	2013 年 5 月	アリーナ 2013(15 号)	矢野桂司・瀬戸寿一	13-19
Japanese surname regions		2013 年	Papers in Regional Science	Cheshire, J.A., Longley, P.A., Yano, K., Nakaya, T.	
GIS for disaster management of historical city, Kyoto	単著	2013 年	In Rohit Jigyasu and Vanicka Arora: 'Disaster Risk Management of Cultural Heritage in Urban Areas: A Training Guide', Research Center for Disaster Mitigation of Urban Cultural Heritage		83-84
Network-based spatial interpolation of commuting trajectories: Application of a university commuting management project in Kyoto, Japan	共著	2013 年	Journal of Transport Geography, 2013, online (査読あり)	Kazumasa Hanaoka, Tomoki Nakaya, Keiji Yano and Shigeru Inoue	
Web-based Map and Digital Archiving for Korean Historic Building Photo Images taken by Dr. Yutaka Kondo during the 1930s and 1940s	共著	2013 年 10 月 31 日	Proceedings of KAGIS Fall Conference 2013 The 15th KOREA & JAPAN International Symposium on GIS (査読無し)	Minsuk Kim, Haruto Murakami, Toshikazu Seto, Keiji Yano, Yukihiro Fukushima and Makoto Dobashi	270-273
Open Social Atlas of the 2010 Population Census of Japan', Proceedings of KAGIS Fall Conference 2013	共著	2013 年 10 月 31 日	The Proceedings of 15th KOREA & JAPAN International Symposium on GIS (査読無し)	Takeho Satani, Keiji Yano, Tomoki Nakaya, Alex Singleton and Christopher Brunsdon	270-273

2013(平成25)年度 歴史都市防災研究所 年報

2010 年国勢調査小地域統計のオープン・アトラスの作成・公開	共著	2013 年 10 月	『地理情報システム学会講演論文集』地理情報システム学会, 第 19 巻 (CD-ROM) (査読無し)	佐谷岳穂・矢野桂司・中谷友樹・Alex Singleton・Christopher Brunson	4
An Initial Study on the Korean Historic Building Photo Images taken by Dr.Yutaka Kondo in Japanese Colonial Era	共著	2013 年 11 月	『韓国建築歴史学会 2013 年秋季学術発表大会資料集』、韓国建築歴史学会 (査読無し)	金玟淑・村上晴澄・瀬戸寿一・矢野桂司・福島幸宏・土橋誠	103-108

研究発表等 (学会発表)				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
福島県相馬市の復興まちづくりに対する Geodesign 手法の適用	共著	2013 年 5 月	第 9 回 G I S コミュニティフォーラム マップギャラリー (学会発表)	矢野桂司、花岡和聖、磯田弦、桐村喬、中谷友樹、瀬戸寿一
Classifying the Japanese in London using Geodemographics	単著	2013 年 8 月 5～9 日	IGU Kyoto Regional Conference 2013, Kyoto (学会発表)	Keiji Yano
Japanese Geodemographics based on the 2010 Population Census of Japan	共著	2013 年 8 月 5～9 日	IGU Kyoto Regional Conference 2013, Kyoto (学会発表)	Keiji Yano, Takashi Kirimura, Tomoki Nakaya, and Takeho Satani
Comparisons of spatial microsimulation approaches for estimating person-trips at small area level	共著	2013 年 8 月 5～9 日	IGU Kyoto Regional Conference 2013, Kyoto (学会発表)	Kazumasa Hanaoka and Keiji Yano
Historical changes in land price formation factors over 100 years in Kyoto, Japan: comparison of the land price distributions in 1910s and 2010s in a GIS environment	共著	2013 年 8 月 5～9 日	IGU Kyoto Regional Conference 2013, Kyoto (学会発表)	Kazuto Aoki, Koji Takeda, Daigo Ito, Keiji Yano, Tomoki Nakaya and Manabu Inoue
デジタル人文学の最前線：バーチャル京都	単著	2013 年 9 月 23 日	京阪神地区難関大学フェスティバル 2013、梅田スカイビル タワーウェスト (大阪市)	矢野桂司
バーチャル京都と G I S による景観シミュレーション	単著	2013 年 10 月 5 日	京都建築スクール勉強会、キャンパスプラザ京都 (京都市)	矢野桂司
2010 年国勢調査小地域統計のオープン・アトラスの作成・公開	共著	2013 年 10 月 26～27 日	第 22 回学術研究発表大会、地理情報システム学会、慶応義塾大学三田キャンパス (学会発表)	佐谷岳穂・矢野桂司・中谷友樹・Alex Singleton・Christopher Brunson
Geodesign Framework for Restoration Planning in Soma City, Fukushima Prefecture	単著	2013 年 10 月 28～29 日	2013 Geodesign International Conference: Maximizing Beneficial Impact Pekin University, China (国際会議)	Keiji Yano
Geodesign Framework for Restoration Planning in the wake of the Great East Japan Earthquake	単著	2013 年 10 月 30～31 日	2013 KAGIS Fall Conference and the 15th Korean & Japan International Symposium on GIS, Ramada Plaza Hotel, Korea (国際会議)	Keiji Yano

Open Social Atlas of the 2010 Population Census of Japan	共著	2013 年 10 月 31 日	KAGIS Fall Conference 2013 The 15th KOREA & JAPAN International Symposium on GIS, pp270-273 RAMADA PLAZA JEJU HOTEL (Jeju, Korea) (学会発表)	Takeho Satani, Keiji Yano, Tomoki Nakaya, Alex Singleton and Christopher Brunsdon
Web-based Map and Digital Archiving for Korean Historic Building Photo Images taken by Dr. Yutaka Kondo during the 1930s and 1940s	共著	2013 年 10 月 31 日	KAGIS Fall Conference 2013 The 15th KOREA & JAPAN International Symposium on GIS, pp270-273 RAMADA PLAZA JEJU HOTEL (Jeju, Korea) (学会発表)	Minsuk Kim, Haruto Murakami, Toshikazu Seto, Keiji Yano, Yukihiko Fukushima and Makoto Dobashi
ジオデモグラフィックスの新展開	単著	2013 年 11 月 14 日	G 空間 EXPO2013、「マーケティング GIS の最前線：ジオデモグラフィックス 2010」、日本科学未来館（東京都江東区）	矢野桂司
バーチャル京都で京都の過去、現在、未来をみる	単著	2013 年 11 月 21 日	Rits 不動産ネットワーク・同志社合同例会、京都タワーホテル（京都市）招待講演・招待発表	矢野桂司
日帝強占期における近藤豊撮影韓国写真資料に関する基礎研究（An Initial Study on the Korean Historic Building Photo Images taken by Dr.Yutaka Kondo in Japanese Colonial Era）	共著	2013 年 11 月 23 日	韓国建築歴史学会、漢陽大学校（ソウルキャンパス）（学会発表）	金玖淑・村上晴澄・瀬戸寿一・矢野桂司・福島幸宏・土橋誠
Revival of a traditional Japanese festival: virtual ato-matsuri across time and space	共著		The International Conference on Culture and Computing 2013, Kyoto, Japan, 2013 pp210-211 (Best Paper Award of the Digital Humanities Special Track) (学会発表)	Liang Li, Woong Choi, Mana Umeda, Kozaburo Hachimura, Keiji Yano and Hiromi Tanaka
Revival of a traditional Japanese festival: virtual ato-matsuri across time and space	共著		The International Conference on Culture and Computing 2013, Kyoto, Japan, 2013 (学会発表)	Keiji Yano, Toshikazu Seto, Takanori Hashimoto, Kenich Sumiyoshi and Dai Kawahara

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
新町通の電柱、看板撤去すれば『鉾の道』すっきり：立命大教授バーチャル地図で	単著	京都新聞	2008 年 9 月 5 日～
大学が変わる。現場へー知識基盤社会をリードせよー	単著	BS Japan	2008 年 10 月 31 日～
'Virtual Kyoto' the Proceeding of Virtual Geographic Environments	共著	An International Conference on Developments in Visualization and Virtual Environments in Geographic Information Science	2008 年～
京のキャンパス情報～立命館大学・衣笠キャンパス～	単著	関西テレビ京都チャンネル「京都ちゃちゃちゃっ」	2009 年 2 月 4 日～
「第Ⅲ期京町家まちづくり調査（中間報告：西陣・伏見エリア）」	共著	景観・まちづくり調査シンポジウム「明日に活かす京町家ー京町家まちづくり調査中間報告会ー」、ひと・まち交流館京都（京都市）	2009 年 7 月 20 日～

2013(平成 25)年度 歴史都市防災研究所 年報

「歴史的建造物と GIS—奈良県近代和風建築調査を事例に—」	単著	町家・民家再生センター(仮称)の設立に向けた第 2 回協議会, 奈良県社会福祉総合センター (橿原市)	2009 年 12 月 15 日～
「山鉦巡行をバーチャル体験:立命大などデジタル博物館計画」	単著	京都新聞	2010 年 7 月 21 日～
「京町家 4 万 7 千戸データベース化:市、保全に活用へ」	単著	京都新聞	2010 年 10 月 21 日～
「京都市明細図についてコメント」	単著	NHK 京都ニュース 610 京いちにち	2010 年 12 月 16 日～
「京都市明細図ワークショップ」	共著	立命館大学歴史都市防災研究センター・カンファレンスホール (京都市)	2011 年 6 月 15 日～
「バーチャル京都で歴史都市京都を旅する」	単著	アスニーセミナー, 京都アスニー (京都市)	2011 年 7 月 15 日～
『京都祇園祭大船鉦復興展示—京都市無形文化遺産展示室—』	単著	ヨドバシカメラ マルチメディア 京都 1F 特別展示スペース (京都市)	2011 年 10 月 24 日～
「バーチャル京都:歴史都市京都のデジタル地誌学」	単著	4 回大阪・京都文化講座「大阪・京都の風土と景観」, 立命館大阪キャンパス (大阪市)	2011 年 11 月 7 日～
‘Virtual Yamahoko Parade in Kyoto Gion Festival,’	共著	International Symposium Human Body Motion Analysis with Motion Capture, Ritsumeikan University (Shiga, Japan)	2012 年 1 月 21 日～
「CG と高忠実度音場記録による『バーチャル山鉦巡行』」	共著	京都・大学ミュージアム連携企画シンポジウム「いま、大学ミュージアムに求められるもの」, 京都工芸繊維大学 (京都市)	2012 年 2 月 11 日～
『船鉦の名宝展開催記念講演会:船鉦の懸装品について—デジタル・ミュージアムの可能性について—』	単著	京都文化博物館 3 階シアター (京都市)	2012 年 3 月 11 日～
「占領期京都を考えるワークショップ」	共著	flowing KARASUMA (京都市)	2012 年 3 月 16 日～

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月 (西暦可)
ESRI ジャパン	第 9 回 GIS コミュニティフォーラム マップギャラリー 第一位	福島県相馬市の復興まちづくりに対する Geodesign 手法の適用	2013 年 5 月

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	山内 寛紀	

研究発表等				
発表題名 Human detection using histograms of oriented gradient with background subtraction based on mixture of Gaussians for human behavior recognition	共著	発表予定 2014 年 2 月 28 日	発表会議名 2014 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing	発表者名 Norifumi Murata, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi, Hironori Yamauchi

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	助教	山田 悟史	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
ふたたび運河と暮らすまち 京都・木屋町・高瀬川: 第四回文化遺産防災アイデアコンペティション〈公式ガイドブック〉	共編著	2013 年 4 月	学芸出版社	立命館大学グローバル COE「文化遺産防災学」推進拠点 第四回文化遺産防災アイデアコンペティション実行委員会	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
衛星写真の画像処理と GIS を用いた津波被害の推計手法に関する研究ー被災家屋数と被災者数の推計の迅速化ー	共著	2013 年 12 月	第 36 回情報・システム・利用・技術シンポジウム 論文集: 論文(本論審査), pp.115-120, 2013.12, 日本建築学会,	窪園翔治, 山田悟史	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
衛星写真の画像処理と GIS を用いた津波被害の分析手法に関する研究ー推計被災家屋数の把握の迅速化ー	共著	2013 年 8 月	日本建築学会大会(北海道)学術講演会梗概集, pp.7-8, 日本建築学会	窪園翔治, 山田悟史
GIS を用いた津波災害に対する避難計画の作成支援手法ー避難時間の可視化による一次避難場所・避難施設及び避難経路の配置計画ー	共著	2013 年 8 月	日本建築学会大会(北海道)学術講演会梗概集, pp.687-688, 日本建築学会	吉川優矢, 大山智基, 山田悟史, 石井政雄
地理情報システムを用いた津波避難計画の避難時間の可視化と関連施設の配置計画	共著	2013 年 12 月	第 36 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp.225-228, 2013.12, 日本建築学会	吉川優矢, 大山智基, 山田悟史, 石井政雄

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
文学部	教授	吉越 昭久	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
日本災害資料集 気象災害編第 1 巻	単著	2013年10月	クレス出版	吉越昭久	1-284
日本災害資料集 気象災害編第 2 巻	単著	2013年10月	クレス出版	吉越昭久	1-375
日本災害資料集 気象災害編第 3 巻	単著	2013年10月	クレス出版	吉越昭久	1-514
日本災害資料集 気象災害編第 4 巻	単著	2013年10月	クレス出版	吉越昭久	1-330,1-189
日本災害資料集 気象災害編第 5 巻	単著	2013年10月	クレス出版	吉越昭久	1-357
災害の地理学	編	2014 年 3 月 (予定)	風間書房	吉越昭久	

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
理工学部	准教授	吉富 信太	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
伝統木造建築物の全体架構モデルに関する研究	共著	2013 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol.7	吉富信太, 尾崎訓広, 向坊恭介	pp.105-108

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
伝統木造建築物の全体架構モデルに関する研究	共著	2013 年 7 月	第 7 回歴史都市防災シンポジウム	吉富信太

研究業績書

対象期間	2013 年 4 月 1 日	～	2014 年 3 月 31 日
所属	職名	氏名	
衣笠総合研究機構	専門研究員	金 玟淑	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
文化財の防災取り組みに関する調査研究-人災・獣害の実態について-	共著	2013 年 5 月	地域安全学会、地域安全学会梗概集 No.32	崔青林、朴ジョンヨン、金玟淑、谷口仁士	47-50
文化財の防災取り組みに関する調査研究-文化財の防御システムの実態について-	共著	2013 年 5 月	地域安全学会、地域安全学会梗概集 No.32	金玟淑、崔青林、朴ジョンヨン、谷口仁士	51-54
文化財の防災取り組みに関する調査研究-所有者による文化財の価値評価について-	共著	2013 年 5 月	地域安全学会、地域安全学会梗概集 No.32	朴ジョンヨン、崔青林、金玟淑、谷口仁士	55-58
安東河回村の火災安全性に関する調査研究	単著	2013 年 5 月	韓国建築歴史学会、韓国建築歴史学会 2013 年春季学術発表大会資料集(韓文)	金玟淑	147-154
文化財所有者を対象とした人災・獣害の現状と防御システムに関する調査研究	共著	2013 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.7	朴ジョンヨン、崔青林、金玟淑、谷口仁士	161-168
金山寺本堂の火災について	共著	2013 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.7	金玟淑、谷口仁士	243-248
韓国の文化財保存史研究における『清交』の評価	単著	2013 年 8 月	日本建築学会、学術講演梗概集 F-2	金玟淑	633-634
Web-based Map and Digital Archiving for Korean Historic Building Photo Images taken by Dr. Yutaka Kondo during the 1930s and 1940s	共著	2013 年 10 月	The Korean Association of Geographic Information Studies, <i>Proceedings of KAGIS Fall Conference 2013 and the 15th KOREA & JAPAN International Symposium on GIS</i>	Minsuk KIM, Haruto MURAKAMI, Toshikazu SETO, Keiji YANO, Yukihiro FUKUSHIMA, Makoto DOBASHI	232-235
日帝強占期における近藤豊撮影韓国写真資料に関する基礎研究	共著	2013 年 11 月	韓国建築歴史学会、韓国建築歴史学会 2013 年秋季学術発表大会資料集(韓文)	金玟淑、村上晴澄、瀬戸寿一、矢野桂司、福島幸宏、土橋誠	103-108

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
文化財の防災取り組みに関する調査研究-人災・獣害の実態について-	共著	2013 年 5 月	地域安全学会 第 32 回研究発表会(春季)	崔青林
文化財の防災取り組みに関する調査研究-文化財の防御システムの実態について-	共著	2013 年 5 月	地域安全学会 第 32 回研究発表会(春季)	金玟淑
文化財の防災取り組みに関する調査研究-所有者による文化財の価値評価について-	共著	2013 年 5 月	地域安全学会 第 32 回研究発表会(春季)	崔青林
安東河回村の火災安全性に関する調査研究	単著	2013 年 5 月	韓国建築歴史学会 2013 年春季学術発表大会	金玟淑

2013(平成 25)年度 歴史都市防災研究所 年報

文化財所有者を対象とした人災・獣害の現状と防御システムに関する調査研究	共著	2013 年 7 月	第 7 回歴史都市防災シンポジウム	朴ジョンヨン
金山寺本堂の火災について	共著	2013 年 7 月	第 7 回歴史都市防災シンポジウム	金玟淑
韓国の文化財保存史研究における『清交』の評価	単著	2013 年 8 月	2013 年度日本建築学会大会(北海道)	金玟淑
Web-based Map and Digital Archiving for Korean Historic Building Photo Images taken by Dr. Yutaka Kondo during the 1930s and 1940s	共著	2013 年 10 月	The 15th KOREA & JAPAN International Symposium on GIS	金玟淑
文化財アーカイブ構築と活用	単著	2013 年 11 月	立命館大学 2013 年度第 18 回ライスボールセミナー	金玟淑
日帝強占期における近藤豊撮影韓国写真資料に関する基礎研究	共著	2013 年 11 月	韓国建築歴史学会 2013 年秋季学術発表大会	金玟淑